

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 10-240689

(43)Date of publication of application : 11.09.1998

(51)Int.CI.

**G06F 15/00**

**G06F 1/00**

**G06F 13/00**

H04L 9/32

(21)Application number : 09-060151

**(71)Applicant : NET BIRETSUJI KK**

(22)Date of filing :

**28.02.1997**

(72)Inventor : IIDA SHOICHI

## (54) USER CERTIFICATION TRANSFER SYSTEM

**(57)Abstract:**

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To easily grasp who views a WEB page and to perform corresponding special service and display by a WEB browser by transferring URL information and user verification information at the time of transferring information to respective WDB pages from the WWW browser.

**SOLUTION:** Relating to the personal computer terminal 1 on the user-side, URL information and ciphering data being ID information are contained and sent later from application communication software 3 installed from a CD-ROM 2 to the WWW browser 4. URL information and ciphering data being ID information are sent from the WWW browser 4 to a WEB site 6. A WWW browser 4-side obtains WEB data from the WEB site 6. At that time, the WEB browser user refers to the main server 7 of an information center 5. Thus, the WEB browser grasps wheather a person viewing the

WEB page is a member or not and grasps who he is if he is the member.

## LEGAL STATUS

**[Date of request for examination]**

**04.03.1997**

[Date of sending the examiner's decision of 25.10.1999  
rejection]

[Kind of final disposal of application other  
than the examiner's decision of rejection or  
application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's  
decision of rejection]

[Date of requesting appeal against  
examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2000 Japanese Patent Office

(書誌+要約+請求の範囲)

---

- (19)【発行国】日本国特許庁(JP)  
(12)【公報種別】公開特許公報(A)  
(11)【公開番号】特開平10-240689  
(43)【公開日】平成10年(1998)9月11日  
(54)【発明の名称】ユーザー認証受け渡しシステム  
(51)【国際特許分類第6版】

G06F 15/00 330

1/00 370

13/00 351

H04L 9/32

【FI】

G06F 15/00 330 B

1/00 370 E

13/00 351 Z

H04L 9/00 673 A

【審査請求】有

【請求項の数】1

【出願形態】FD

【全頁数】5

- (21)【出願番号】特願平9-60151  
(22)【出願日】平成9年(1997)2月28日  
(71)【出願人】  
【識別番号】597035436  
【氏名又は名称】ネットビレッジ株式会社  
【住所又は居所】東京都新宿区西新宿3丁目20番2号  
(72)【発明者】  
【氏名】飯田 祥一  
【住所又は居所】東京都新宿区西新宿3丁目20番2号 ネットビレッジ株式会社内  
(74)【代理人】  
【弁理士】  
【氏名又は名称】神崎 正浩
-

(57)【要約】

【課題】 WWWブラウザから各WEBブラウザに情報を渡す際に、URL情報と共にユーザーのID情報も渡すことを可能にする。

【解決手段】 アプリケーション通信ソフト3に、利用者がいつどのWEBページををクリックしたかをアクセスログデータとしてセンターサーバー7側に捕捉させ、WEBページをビルのCG形式で生成表示させることでリンク元は自分のホームページを開設（リンク）させる。利用者が所望のビルを訪問（クリック）するとWWWブラウザ4が起動しWEBページが表示されて予め各ビルに指定されたURLに飛び、WWWブラウザ4から各WEBブラウザに情報を渡す際に、URL情報と共にユーザー認証情報を渡すユーザー認証受け渡し手段を設定する。

---

【特許請求の範囲】

【請求項1】 予めサービス提供者によりサービス処理情報内容がプログラム設定され、端末操作を介して情報センターサーバにアクセスし、該情報センターサーバからコントロール情報を得るためのCD-ROM形態のアプリケーション通信ソフトであって、該アプリケーション通信ソフトには、WEBページへのリンク機能が含まれており、WWWブラウザから各WEBブラウザに情報を渡す際に、URL情報と共にユーザー認証情報を渡すユーザー認証受け渡し手段を有することを特徴とするユーザー認証受け渡しシステム。

詳細な説明

---

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、例えばゲームソフト等に応用されるものであり、利用者がコンピュータグラフィックス（CG）等による画面表示内で仮想都市国家を構築し、その中で複数の参加利用者およびサービスの間での通信を実現するための主としてインターネットの仕組みとCD-ROM機能によるアプリケーション通信ソフトを使用したユーザー認証受け渡しシステムに関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来、ゲームソフト用のコンピュータグラフィックス等による画面表示の中に構築された仮想都市空間の中へネットワークを通じて自分の分身を送り込み、この中で自由に生活する所謂ハイパーコミュニケーションネットワークのためのCD-ROM機構がある。そして、近年、インターネット経由で各利用者のパソコンに立体仮想空間映像を送り込む方式が現実のものとなりつつある。このときのユーザー認証システムとしては、

パソコンと通信モデムによる通信回線接続サービスをするプロバイダや、通信回線自体を所有するキャリアや、電話回線を大量保有してクローズドネットワークサービスを行なうパソコン通信によるものが主流であった。そして、従来では情報センターのサーバ側での起動手手段だけにより表示コマンド列の生成やサービスの実行処理を能動的に全て行う必要があった。例えばユーザーのIDやパスワード等の固有の情報の入力を促し、それらを利用者側で行なうことによって初めて行なわれる形式のものであった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、通称ネットビレッジにおいてはある特定のWEBページ上でネットビレッジブラウザ（アプリケーション通信ソフト）から飛んできた利用者すなわち会員向けの特種なサービスを行ないたかった。そして、従来はあるアプリケーション通信ソフトからWEBブラウザにURL情報を渡すことはできても、該WEBブラウザにその他の情報を与えていないため、あるWEBページを見ているときには、該アプリケーション通信ソフトを通じて該WEBページを見に来たのか、一般のインターネットから見に来たのか認証が不可能であった。

【0004】そこで本発明は、叙上のような従来存した問題点に鑑み創出されたもので、ネットビレッジでは、ネットビレッジブラウザから各WEBブラウザに情報を渡す際に、URL情報と共に暗号化した利用者のID情報も渡すことを可能にしたユーザー認証受け渡しシステムを提供することを目的としたものである。

【0005】

【課題を解決するための手段】上述した目的を達成するため、本発明にあっては、予めサービス提供者によりサービス処理情報内容がプログラム設定され、端末操作を介して情報センターサーバにアクセスし、該情報センターサーバからコントロール情報を得るためのCD-ROM形態のアプリケーション通信ソフトであって、該アプリケーション通信ソフトには、WEBページへのリンク機能が含まれており、WWWブラウザから各WEBページに情報を渡す際に、URL情報と共にユーザー認証情報を渡すユーザー認証受け渡し手段を有することを特徴とする。

【0006】本発明に係るユーザー認証受け渡しシステムにあって、ネットビレッジからWEBブラウザに情報を渡す際に、URL情報の後ろにユーザーID情報を含めて渡すことにより、WEBブラウザはネットビレッジのメインサーバにユーザー照会を行なう。これにより、WEBブラウザはそのWEBページを見に来ているものが誰なのか、すなわちネットビレッジ会員か否か、会員であれば誰かまでを把握しているため、それに対応した特種なサービスや表示を行なうことができる。

【0007】

【発明の実施の形態】以下、図面を参照して本発明の実施の形態を説明すれば、ユーザー認証受け渡しシステムを構成する通称ネットビレッジは利用者のアイデアを受けて共同して構築される仮想都市国家であり、通信サービスの利用者同士のリアルタイムな情報交換

を伴うサービスシステムでもある。該ユーザー認証受け渡しシステムは、予めサービス提供者により例えばネットワークを使ったTV放送、E-CASH利用のショッピングモール等その他の新規情報のサービス処理情報内容と共にグラフィックデータ、広告データ等が記録設定されたアプリケーション通信ソフト3である所謂CD-ROMを予め複数の利用者に送付され、該アプリケーション通信ソフト3によりPC端末操作を介して情報センターサーバ7にアクセスさせるものである。そして、利用者がいつどのWEBページをクリックしたかをアクセスログデータとして情報センターサーバ7側に捕捉させる通信制御機能と、WEBページをビルのCG形式で生成表示させることで自分のホームページを開設（リンク）させる表示制御機能と、利用者が所望のビルを訪問（クリック）するとWWWブラウザが起動しWEBページが表示されて予め各ビルに指定されたURLに飛び起動処理機能と、WWWブラウザから各WEBページへ情報を渡す際に、URLと共にユーザー認証情報を渡すユーザー認証受け渡し機能とが夫々設定されている。

【0008】そして、具体的なシステムの全体構成は、図1に示すように、利用者側のパソコン端末1において、CD-ROM2からインストールされたアプリケーション通信ソフト3からWWWブラウザ4へURL情報と共にID情報である暗号化データを後に含めて送られ、該WWWブラウザ4からWEBサイト6へURL情報と共にID情報である暗号化データが送られ且つWWWブラウザ4側はWEBサイト6からWEBデータを得るのである。このとき、WEBブラウザは情報センター5のメインサーバ7にユーザー照会を行なうのである。

【0009】上記したシステム構成によるシステムフローは、図2に示すように、先利用者側がWEBページにリンクしたビルをクリックすれば、その利用者のID、パスワードを利用して暗号化されたデータを作成し、URL+暗号化データをWEBブラウザに送る。次いで、WEBブラウザにおいて指定されたURLに応じてWEBサーバへアクセスし、暗号化されたデータを解読しセンターサーバ7に問い合わせるユーザー認証を行なう。このとき、認証OKであるか否かの判断が行なわれ、OKの場合にはWEBブラウザにおいてページを表示させる。また、認証がNOであればWEBサーバでアクセスができなかった旨のメッセージを表示するためのWEBページを自動作成すると共に、WEBブラウザにおいてアクセスができなかったページに表示させるのである。

【0010】上記した構成により、センターサーバ7側へ各利用者の前記記録媒体としてのアプリケーション通信ソフト3を介してのアクセス情報に応じた動的ログデータが予め記録管理され、利用者による動的ログデータのリアルタイムでのアクセス活用頻度に応じて動的ニーズに対応した情報がセンターサーバ7から各利用者側へ提供される。このとき、ユーザー認証受け渡し機能によりWEBブラウザ上で容易にユーザー認証を可能とし、特定のユーザー会員にのみ特定の情報提供が可能となる。

【0011】次に、本発明の使用の一例を説明するに、ネットビレッジは会員全員に対しての配信から、或る特定の要件を満たす少数会員にまで、あらゆる特性をクロスさせてタ

ーゲットを絞り込み、情報の配信を可能とさせている。例えばアプリケーション通信ソフト3にはネットビレッジに参加しているビルやその他の建造物を、ドラッグ&ドロップして簡単に自分だけのオリジナルビレッジを作る機能があり、URLを打ち込んでビレッジに参加していないWEBページをリンクさせる所謂ビジュアル・ブックマーク機能（図示せず）を備えている。このように自分がいつも使うWEBページを自分専用の街にして、デフォルトで起動できるように設定しておけば非常に便利である。この他ネットビレッジには田舎風のデザインとかハワイ風のデザインとか各種のオリジナルな建造物デザインパーツを企画することができる。また、パソコン通信を支えている会議室の仕組みを発展させて、画像、映像、音声等を表示させながら議論できる場を好きなテーマで自由にビルの形でオープンできるものとしている。また、会員同士のメッセージ交換も可能である。

【0012】

【発明の効果】本発明は以上のように構成されており、特に、通信アプリケーションソフトからWEBブラウザに情報を渡す際に、URL情報の後ろにユーザーID情報を含めて渡すことにより、WEBブラウザはセンターサーバーにユーザー照会を行なわせるので、これにより、WEBブラウザはそのWEBページを見に来ているものが誰なのか、すなわちユーザー会員か否か、会員であれば誰かまでを把握することができ、それに対応した特殊なサービスや表示を行なうことができる。また、たとえユーザー会員以外のものがアクセスされた場合であっても、何等の支障を生じることなくWEB上で容易にユーザー認証を可能とし、特定のユーザー会員にのみに対して特定の情報提供が可能となる。また、特定のユーザー会員に対し、センターサーバより動的ログデータのリアルタイムでのアクセス活用頻度に応じて動的ニーズに対応した情報が配信されるため、従来情報センターサーバ側で行なっていたサービス処理表示生成をCD-ROMより利用者端末にインストールしたアプリケーションから通信ソフトを介して行なうことができ、利用者の積極的なアクセスが期待できると共に、リンク元にしてみると毎日視覚的に自分ホームページのアクセス状況を確認することができる。

## 図の説明

---

【図面の簡単な説明】

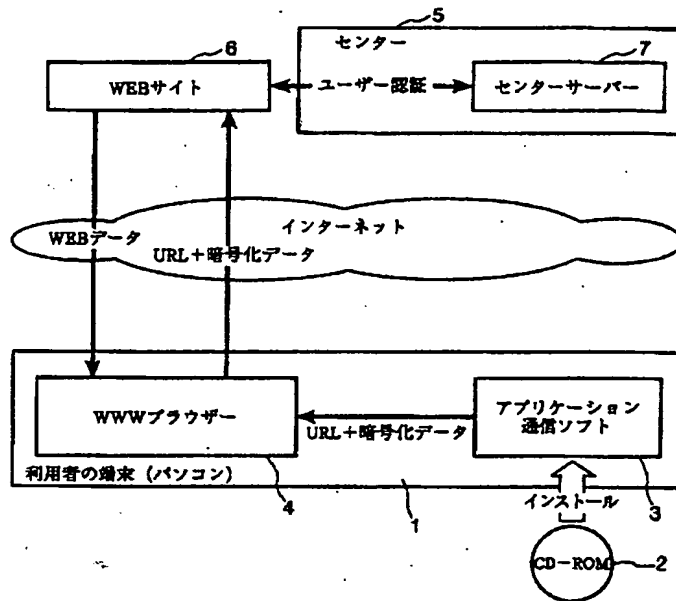
【図1】本発明の実施の形態を示したシステム構成図である。

【符号の説明】

- 1...パソコン端末 2...CD-ROM
- 3...アプリケーション通信ソフト 4...WWWブラウザ
- 5...情報センター 6...WEBサイト
- 7...センターサーバー

図面

【図 1】



【図 2】



